

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年12月11日(2014.12.11)

【公開番号】特開2014-188270(P2014-188270A)

【公開日】平成26年10月6日(2014.10.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-055

【出願番号】特願2013-68080(P2013-68080)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 5/04 5 1 3 C

A 6 3 F 5/04 5 1 6 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月27日(2014.10.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の回転開始操作を受けて、複数種類の図柄が描かれた複数の回胴を回転させ、所定の回転停止操作を受けて前記複数の回胴の回転を停止させてことで1回の図柄変動遊技を行う回胴式遊技機であって、

前記回転開始操作が行われてから1回の前記図柄変動遊技が終了するまでの間に、当該図柄変動遊技の進行を停滞させ、所定の操作部の操作に基づいて回転中の回胴を仮停止させる回胴演出を実行可能な回胴演出実行手段と、

前記回胴演出を再度実行させるか否かを決定するための再実行可否決定処理を実行する再実行可否決定手段と、

前記再実行可否決定処理にて前記回胴演出を再度実行させないと決定された場合に、前記回胴演出を終了させ、停滞中の前記図柄変動遊技を再開する回胴演出終了手段と、

前記回胴演出にて前記複数の回胴を仮停止させて何れかの図柄組合せを表示するよう  
制御する仮停止制御手段と、

を備え、

前記仮停止制御手段は、

所定の操作部が操作されたタイミングが前記回胴演出の再度実行を示す図柄を表示可能  
な場合は、前記回胴演出の再度実行を示す図柄組合せを仮停止させるように制御し、

所定の操作部が操作されたタイミングが前記回胴演出の再度実行を示さない図柄を表示  
可能な場合は、前記回胴演出の再度実行を示さない図柄組合せを仮停止させるように制御  
し、

前記再実行可否決定処理では、

仮停止された前記図柄組合せが前記回胴演出の再度実行を示す図柄組合せの場合に、前  
記回胴演出を再度実行させると決定し、

仮停止された前記図柄組合せが前記回胴演出の再度実行を示さない図柄組合せの場合に  
、前記回胴演出を再度実行させないと決定し、

前記回胴演出実行手段は、前記再実行可否決定処理にて前記回胴演出を再度実行させると決定された場合には、前記回胴演出にて仮停止させた回胴の回転を開始して前記回胴演

出を再度実行する

ことを特徴とする回胴式遊技機。

**【請求項 2】**

請求項 1 に記載の回胴式遊技機において、

前記回胴演出の再度実行を示す図柄組合せを構成する少なくとも 1 つの図柄は、前記回胴演出の再度実行を示す再実行図柄である

ことを特徴とする回胴式遊技機。

**【請求項 3】**

請求項 1 に記載の回胴式遊技機において、

前記回胴演出の再度実行を示す図柄組合せは、前記回胴演出の再度実行を示す再実行図柄の図柄組合せである

ことを特徴とする回胴式遊技機。

**【請求項 4】**

請求項 1 ないし請求項 3 の何れか一項に記載の回胴式遊技機において、

規定回数目的前記回胴演出における前記回胴の回転態様を変化させる回転態様変更手段を備える

ことを特徴とする回胴式遊技機。

**【請求項 5】**

請求項 4 に記載の回胴式遊技機において、

前記回胴演出が再度実行される場合に、特典を付与する特典付与手段を備え、

前記特典付与手段は、前記回胴の回転速度が速くなるに従って、有益な特典を付与することを特徴とする回胴式遊技機。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0 0 0 7

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0 0 0 7】**

上述した課題の少なくとも一部を解決するために、本発明の回胴式遊技機は次の構成を採用した。すなわち、

所定の回転開始操作を受けて、複数種類の図柄が描かれた複数の回胴を回転させ、所定の回転停止操作を受けて前記複数の回胴の回転を停止させることで 1 回の図柄変動遊技を行う回胴式遊技機であって、

前記回転開始操作が行われてから 1 回の前記図柄変動遊技が終了するまでの間に、当該図柄変動遊技の進行を停滞させ、所定の操作部の操作に基づいて回転中の回胴を仮停止させる回胴演出を実行可能な回胴演出実行手段と、

前記回胴演出を再度実行させるか否かを決定するための再実行可否決定処理を実行する再実行可否決定手段と、

前記再実行可否決定処理にて前記回胴演出を再度実行させないと決定された場合に、前記回胴演出を終了させ、停滞中の前記図柄変動遊技を再開する回胴演出終了手段と、

前記回胴演出にて前記複数の回胴を仮停止させて何れかの図柄組合せを表示するよう制御する仮停止制御手段と、

を備え、

前記仮停止制御手段は、

所定の操作部が操作されたタイミングが前記回胴演出の再度実行を示す図柄を表示可能な場合は、前記回胴演出の再度実行を示す図柄組合せを仮停止させるように制御し、

所定の操作部が操作されたタイミングが前記回胴演出の再度実行を示さない図柄を表示可能な場合は、前記回胴演出の再度実行を示さない図柄組合せを仮停止させるように制御し、

前記再実行可否決定処理では、

仮停止された前記回胴演出の再度実行を示す図柄組合せの場合に、前記回胴演出を再度実行させると決定し、

仮停止された前記回胴演出の再度実行を示さない図柄組合せの場合に、前記回胴演出を再度実行させないと決定し、

前記回胴演出実行手段は、前記再実行可否決定処理にて前記回胴演出を再度実行させると決定された場合には、前記回胴演出にて仮停止させた回胴の回転を開始して前記回胴演出を再度実行する

ことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

このような本発明の回胴式遊技機では、1回の図柄変動遊技が終了するまでに、図柄変動遊技を停滞させ、所定の操作部が操作されたことに基づいて、回転中の回胴を仮停止させる回胴演出を実行可能となっており、その操作部の操作を受けて、回胴演出を再度実行するか否かを決定するための再実行可否決定処理を行う。再実行可否決定処理では、仮停止された回胴演出の再度実行を示す図柄組合せの場合に、回胴演出を再度実行させると決定されるので、もう一度回胴演出の実行が可能となる。これに対して、仮停止された回胴演出の再度実行を示さない図柄組合せの場合に、回胴演出を再度実行させないと決定されて、回胴演出が終了となる。これにより、図柄変動遊技の進行が停滞している回胴演出中において、再実行図柄が表示される再実行タイミングを狙って遊技者に所定の操作部を操作させる（いわゆる目押しをさせる）遊技性を付加することができる、回胴演出における遊技興味を向上させることができる。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、上述した本発明の回胴式遊技機では、

前記回胴演出の再度実行を示す図柄組合せを構成する少なくとも1つの図柄は、前記回胴演出の再度実行を示す再実行図柄である

こととしてもよい。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

このような構成によれば、1回でも回胴演出の再度実行が決定されれば、もう一度回胴演出の実行が可能となる。このように1回の回胴演出が終了するまで回胴演出の再度実行が可能となる機会を複数回設けることにより、例えば、複数の操作部のうち最初の操作で回胴演出の再度実行が決定されなくても、残りの操作部の操作で回胴演出の再度実行が決定される可能性があるので、複数の操作部を全て操作するまで回胴演出の再度実行に期待させて、遊技興味を高めておくことができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、前述した本発明の回胴式遊技機では、

前記回胴演出の再度実行を示す図柄組合せは、前記回胴演出の再度実行を示す再実行図柄の図柄組合せである

こととしてもよい。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

このような構成によれば、全てで回胴演出の再度実行が決定されなければ、回胴演出が再度実行されずに終了となる。これにより、回胴演出における複数の操作部の一つ一つの操作の緊張感を高めることができるので、遊技興趣の向上を図ることができる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

また、こうした本発明の回胴式遊技機では、

規定回数目の前記回胴演出における前記回胴の回転態様を変化させる回転態様変更手段を備える

こととしてもよい。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

このようにすれば、規定回数目の回胴演出における回胴の回転態様を変化させることができ可能になる。例えば、回胴の回転速度が速くなると、再実行図柄を表示させる目押ししが難しくなり、回胴の回転速度が遅くなると、再実行図柄を表示させる目押しが簡単になるので、多数回の回胴演出が連續して実行される場合であっても、目押しの難易度を途中で変化させることができる。これにより、画一的な回胴演出とならず、遊技興趣を高めることができるようとなる。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、上述した本発明の回胴式遊技機では、

前記回胴演出が再度実行される場合に、特典を付与する特典付与手段を備え、

前記特典付与手段は、前記回胴の回転速度が速くなるに従って、有益な特典を付与する

こととしてもよい。